

平成22年12月

逗子市教育委員会定例会

平成22年12月22日

逗子市教育委員会

会 議 録

平成22年12月22日逗子市教育委員会12月定例会を逗子市役所5階第5会議室に招集した。

◎ 出席者

委 員 長	村 松 邦 彦
教 育 委 員	竹 村 史 朗
教 育 委 員	山 西 優 二
教 育 委 員	桑 原 泰 恵
教 育 長	青 池 寛
教 育 部 長	柏 村 淳
教 育 部 次 長 社会教育課長事務取扱	杉 山 光 世
教 育 総 務 課 長	原 田 恒 二
教 育 総 務 課 主 幹 (施 設 整 備 担 当)	永 島 重 昭
学 校 教 育 課 長	奥 村 文 隆
学 校 教 育 課 主 幹	川 名 裕
教 育 研 究 所 長	川 村 信 敏
図 書 館 長	小 川 俊 彦
図 書 館 館 長 補 佐	鈴 木 明 彦
市民協働部文化振興課長	間 瀬 勝 一
市民協働部スポーツ課長	宮 崎 豊
福祉部児童青少年課長	山 田 隆
事務局	
教育総務課教育総務係長	佐 藤 多 佳 子
教 育 総 務 課 主 任	土 屋 直 之

◎ 開会時刻 午前10時00分

◎ 閉会時刻 午前10時52分

◎ 会議録署名委員決定 山西委員、竹村委員

○村松委員長

それでは、おはようございます。会議に先立ち、傍聴の皆様をお願いいたします。傍聴に際しては、入口に掲示されております注意事項をお守りくださるようお願いいたします。なお、報道関係者以外の録音、写真撮影につきましては、許可しておりませんので、御了承ください。また、教育委員会の議決により、秘密会にすべき事項と思われる案件が出されたときには、退場いただく場合がありますので、御了承ください。

○村松委員長

定足数に達しておりますので、ただいまから平成22年逗子市教育委員会12月定例会を開会いたします。

それでは会議に入ります。本日の会議日程は、お手元に配付したとおりでございます。

会議規則により、本日の会議録署名委員は、山西委員、竹村委員をお願いいたします。

これより会議日程に入ります。

◎日程第1「10月定例会会議録の承認について」

○村松委員長

日程第1「10月定例会会議録の承認について」を議題といたします。

委員にはお手元の会議録をごらんいただくようお願いいたします。

会議録について御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

よろしゅうございますか。それでは、特に御異議がないようですので、10月定例会会議録は承認いたします。

竹村委員、桑原委員は会議録に御署名ください。

◎日程第2「11月定例会会議録の承認について」

○村松委員長

日程第2「11月定例会会議録の承認について」を議題といたします。

皆さんにはお手元の会議録をごらんいただくようお願いいたします。

何か会議録について御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声多数)

よろしゅうございますか。御異議がないようですので、11月定例会会議録は承認いたしま

す。

桑原委員、山西委員は会議録に御署名ください。

◎日程第3「教育長報告事項について」

○村松委員長

日程第3「教育長報告事項について」を議題といたします。

教育長から報告をお願いいたします。

○青池教育長

11月の定例会以降の委員会が関係した行事、会議等について御報告いたします。

まず、11月15日、縣市町村教育長会議が秦野市商工会議所で開かれました。内容的には、23年度各団体からの補助金の要望が1点、それから県への予算要望、教育委員会としての予算要望です。それから、教育長の連合会役員会議などでありました。

11月24日、最終の中学校給食検討委員会が行われ、報告書がまとまり、今後はパブリックコメントを行い、教育委員会で審議をする運びとなりました。

11月25日、青少年問題協議会が市長を会長として議会代表、県・市の行政の方々、保護司、民生委員など21人で行われました。青少年の課題、相談内容、被害状況など報告と意見交換を行いました。

12月2日、スポーツ振興審議会が行われ、スポーツ振興計画の審議が行われました。

12月5日、逗子湘南ロケーション映画祭シナリオ大会入賞授賞式がありました。大賞1点、入賞2点、特別賞2点が選ばれました。

12月8日、社会教育課主催の人権教育の一環の地球のステージ4で、桑山紀彦氏の講演などが行われました。

12月10日、市小・中校長会がありました。この中で私のほうから、公務員の綱紀の粛正及び服務規律の確保についてのお願いと、いじめ、不登校、校内暴力の解消についてのお願いをいたしました。その他、教育委員会のほうから連絡事項を行いました。

以上の教育委員会開催のいろいろ行事、会議等について御報告いたしました。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。はい、どうぞ。

○柏村教育部長

それでは私から、11月15日の教育委員会定例会で御報告させていただきました以降の平成

22年逗子市議会第4回定例会の概要につきまして御報告させていただきます。

市議会第4回定例会は、残る11月18日までの会期中、16日から18日までの3日間、本会議が開催されました。そのうち教育委員会に係る案件につきまして御報告いたします。まず16日の本会議におきまして、教育委員会職員の人件費等の調整を含めました議案第54号平成22年度一般会計補正予算（第3号）につきまして、全会一致で可決され、引き続き一般質問として13名の議員から行われました。そのうち、教育委員会にかかわるものは8名の議員からなされました。まず、16日には原口議員から、子ども福祉・教育について、横山議員からは就学時健診についての質問がございました。翌日の17日には塔本議員から市立図書館について及び学校図書館についての2件、丸山議員からは教育・福祉について、高野典子議員からは教育諸問題についての質問がございました。最終日の18日には、田中議員から中学校給食について、橋爪議員からは障がい者・障がい児の福祉と支援教育について及び2学期制についての2件、加藤議員からは中学校給食についての質問がございました。答弁の詳細につきましては、事前にお渡ししております質疑応答の内容に沿いまして答弁をしております。これら一般質問終了後、平成22年逗子市議会第4回定例会は閉会されました。以上で報告を終わります。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。ただいま教育長、教育部長から報告いただきましたが、何か本件につきまして御質疑、御意見はありますでしょうか。はい、どうぞ。

○竹村委員

それでは、教育長報告の中にありましたいじめ、不登校、暴力行為等について、何か現在危惧するべき点があれば、お教えいただきたいんですが。

○奥村学校教育課長

いじめ、不登校、暴力行為等につきましては、以前もお話しをいたしました。神奈川県としましても非常に重要な取り組みということで、今まで1度という調査だったものを、年間数回に分けて、短期的な調査を行っているところでございます。本市につきましては、主として中学校の中で暴力行為、それからいじめ等の連絡を受けておりますけれども、各学校で非常に丁寧に対応しております。ほとんどが解決をし終わっています。1件残っているものにつきましても、明日解決ということで聞いております。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。ただ、最近ちょっと、少し何か増えてきている傾向にある

んじゃないかなというふうに危惧しております、そういった意味で、特に予防が大事ですから、やはり学校としても全力で取り組むと同時にですね、教育委員会としてもきちっと目を光らせながら、適切な手を打っていくということはぜひ必要ではないかというふうに思っております。ここしばらくなかったんですが、少し今年に入りましてからですね、いろいろとちょっと出てきているというところでは、少し危惧しております、ぜひその辺を早めに対処していくということを我々考えていかなければいけないだろうというふうに思っております。よろしく願いいたします。

その他、何か…（「関連」の声あり）どうぞ。

○桑原委員

今に関連して、その方法としての一つの案としてですけれども、小学校1年生入学した方が、逗子市の場合、ほとんどの方が中学まで行かれるので、9年間のつき合いに保護者も子供たちもなりますので、特に保護者の連携ですとか、もし何か、いじめですとか学校外に及ぶようなものがあつた場合は、どうしても保護者もかかわってきますので、やはり保護者の相互理解、保護者の学校や行政の理解というのが大変必要になってくると思いますので、そういった意味では、いわゆる懇談会の間というのをとらえ直すということが重要なことというふうに思っております。ですので、今も定期的に学校が主催しての懇談会の間が開かれています、あそこでの進行とかテーマの工夫ですとか、お母さんたち、主に出席するのはお母さんなので、自分たち9年間のつき合いになっていくんだというところの位置づけなんかも工夫されると、いい影響が出てくるんじゃないかなというふうにちょっと感じましたので、意見としてちょっと申し上げました。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。今、意見が出ましたけれど、そういったものを含めてですね、やはり保護者がネットワークしてきちっと目を光らせていると、子供たちもやっぱり保護者の顔を見るとですね、割にそういった問題というのは解消されるということもありますから、ぜひ意見が出ましたことも含めてちょっと対策、対応というのを考えていきたいなというふうに思っております。よろしく願いいたします。

何かそのほかにつきまして御質疑、御意見、はい、どうぞ。

○桑原委員

今、議会の御報告の中で、CAPですとか、性的犯罪というのがあつたんですが、ちょっと質問としては、不審者についてですね、一般的には春先に多いというふうに言われている

んですけれども、昨今の異常気象が影響しているかわかりませんが、年間を通じて不審者が出ているということも耳に入っていますので、気が緩むとそういったことも影響されると思いますので、そのあたりを不審者についても、もし今、ここで挙げていただくような特記事項があればあれですけれども、どういうふうな対策を練られているのかとか、あとはもしそういったものがなければ、ちょっとそういったことも御検討いただいたほうがいいかなというところです。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。何か今の桑原委員のお話について、関連ございますか。はい、どうぞ。

○奥村学校教育課長

不審者対応につきましては、まず学校内に不審者が侵入するというようなことを想定した訓練を学校でも計画をしてやっております。同時に、下校時・登校時等の不審者の情報につきましては、逗子警察との連携の中で、学校教育課のほうに情報がまず上がってきまして、学校教育から各学校にそういった情報を流す。学校から保護者のほうに情報をお伝えするということになっています。各学校で、いわゆるメールサービスがかなり進んでまいりまして、8校中7校がメールサービスを導入しておりますので、そのメールサービスも補助的な手段として活用しております。以上のような対応をしております。

○村松委員長

はい、よろしゅうございますか。はい、ありがとうございました。はい、どうぞ。

○竹村委員

今の御報告にあったメールのサービスというのは、私も保護者、中学校の保護者のときに、そのメールの配信を受けていましたが、非常にスピーディーで、何か対応をとろうと思ったときに、PTAの関係の方々の対応も非常に早かったので、大変有効だというふうに感じていました。これが全部の学校が配信を受けられて有効的に活用できれば、なおいいのではないかなというふうに考えます。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。その他、何かございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、御質疑、御意見がないようですので、教育長報告事項についてを終わりといたします。

◎日程第4「その他」

○村松委員長

日程第4「その他」を議題といたします。

その他、議事として何かありますでしょうか。はい、どうぞ。

○杉山教育部次長

それでは、平成23年度の教育予算案について御説明をさせていただきます。お手元に配付させていただきました平成23年度教育予算案主要事業概要をごらんください。内容につきましては、財政当局に提出した12月現在の要求段階のものでございますので、今後査定等を受けた後に正式な議案として上程されるものです。したがって、今後内容や数字が変更される場合がございますので、御了承いただきたいと思っております。来年度の予算編成方針は、本年度と同様にゼロシーリングを上限とした要求額による枠配分方式で査定することとされております。

表紙をおめくりください。職員給与費及び非常勤事務嘱託員の報酬を除いた教育費の各課別の予算要求額の一覧でございます。合計欄をごらんください。今回の要求額は合計で8億8,966万3,000円となっており、本年度の当初予算と比べ、およそ8,000万円の増額要求となっております。

それでは、各課ごとに主な変更部分について御説明を申し上げます。1ページをごらんください。教育総務課ですが、学校施設整備事業として、大規模改修として計画された外壁防水改修工事及び学校要望を踏まえまして緊急度の高い工事関係について予算要求をしております。太陽光発電計測・表示システムは、使用しているパソコンの老朽化により、データのやりとりができない学校が出てきたという事情により、更新を行うものです。

次に2ページをごらんください。学校教育課につきましては、奨学金事業以下7事業が挙げられておりますが、奨学金事業につきましては、就学が困難な高等学校の新1年生16万円、2、3年生については10万円を年額として給付するもので、各20名を見込み計上しております。特別支援教育充実事業は、110万1,000円の減額になっておりますが、これは学習支援員の人数を27名から25名に減らして計上したことと、特別支援教育研修の回数を減らしたことが主な要因です。

3ページをごらんください。社会教育課につきましては、各種講座事業以下5事業となっておりますが、名越切通整備事業は1,550万6,000円の増となっております。これは名越切通整備工事に係る工事請負費や大切岸落石箇所保存工事の実施設計に係る委託料等工事費用の

増額と、その関係経費の増額が主な要因となっております。古墳整備事業の減額につきましては、整備基本計画に係る測量調査等が今年度で終了することから、それらに係る委託料が減額されたためです。

次に4ページをごらんください。教育研究所ですが、調査・研究事業以下5事業となっております。調査・研究事業では、教育研修及び課題研修の回数の増による講師謝礼金の増額及び電子黒板等の備品購入に181万5,000円の増額要求となっております。副読本発行事業につきましては、「わたしたちの逗子2012年度版」を新たに発行するため、その印刷製本費が予算の増額となっております。

5ページをごらんください。図書館につきましては、法律に基づく子どもの読書活動推進計画の策定に当たり、新たに計画策定検討委員会に係る経費及びアンケート実施に係る費用が必要となるため、図書館活動事業が増額となっております。他の事業については、おおむね平成22年度予算のとおりでございます。

次に6ページに移りまして、以降、教育委員会の補助事業となります。文化振興課の文化活動振興事業は、文化振興基本計画策定等検討委員会の開催、また文化祭の開催等が主な内容で、平成23年度からは手づくり絵本講座及び手づくり絵本コンクールが芸術文化事業へ移管するため、その費用が減額となっております。

7ページをごらんください。スポーツ課の体育振興事業は、スポーツ振興計画策定業務に係る委託料が増額の要因となっております。他の事業につきましては、おおむね平成22年度予算のとおりでございます。

最後に8ページをごらんください。児童青少年課の青少年団体育成事業は、市内の青少年団体の育成事業として補助金を交付しているものです。

以上で平成23年度教育予算案について説明を終わらせていただきます。

○村松委員長

はい、ありがとうございました。ただいま23年度教育予算案について御報告、説明いただきましたけれども、何か御質疑、御意見ありますでしょうか。当然、決まったものじゃない、これから提出するわけですから、これがそのまま通るか、あるいは削られるかと。10%近くですね、昨年度の22年度対比では増えておりますから。教育部長にちょっとお伺いしたいんですが、歳入全体については23年度は22年度から比べて増えますか、減りますか、まだ。はい、どうぞ。

○柏村教育長部長

市税の中でですね、個人の市民税につきましてはやはり団塊の世代の退職等もございまして、引き続き落ち込むということでございます。そのほかですね、退職者も依然として多いというところございまして、これは歳入という形ではございませんけれども、歳出が多くかさむという原因となっております。また、国のほうからの補助金、交付金につきましても、今までのような額は交付されないだろうという見込みを持っておりますので、そういう意味では歳入全体としては22年度と比べて落ち込む原因になる要素が多いというふうに見ております。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。そういう中で、これだけの教育費を増額させるというのは、かなりきついただろうというふうに思いますけれど、ぜひ頑張ってくださいね、全般的に教育費というのは非常に国としても少ないし、そういった意味ではぜひ子供たちに対する投資というのは大事ですから、頑張ってくださいねというふうに思います。何か御質疑、はい、どうぞ。

○竹村委員

すいません。聞き逃しちゃったのかもしれないですけど、2ページの学校教育課のほうの奨学金事業の減額についての御説明をいただければと思うんですけど。

○奥村学校教育課長

本年度までの奨学金につきましては、毎月9,900円、これは授業料相当ということになっております。それに入学の準備金が2万円、進級時が1万円ということで対応して、この22年度予算は792万8,000円という予算立てということになっておりました。ただ、御案内のとおり、国のほうで高等学校授業料無償ということが入ってまいりましたので、もちろんこちらは授業料だけということではなかったわけですが、この9,900円というものにつきましては不要になったと。ただし、逗子の子供たちが通っている近隣の公立高校を調査をいたしましたところ、授業料以外にもですね、学用品として必ず必要になるものというのが、かなりの金額かかるということが調査結果として出てまいりましたので、それで今回につきましては入学の準備金あるいは進級の準備金として1年生で16万、2年生、3年生で10万円という額を設定し、3年間で36万円で20名ですので、760万円という予算を計上したというものです。

○村松委員長

よろしゅうございますか。逆に、本来なら、ある意味では削ってもいい予算を、要するに授業料以外にもお金がかかるということで、その部分を補てんするために継続しようということ考えたわけですか。

○奥村学校教育課長

そうです。

○村松委員長

よろしゅうございますか。

○竹村委員

以前に定例会で私、申し上げたんですけれども、ほかの市町村を見ると、なくしていく方向にあることについて非常に心配になりまして、そのとき発言をしたんですが、経済的な理由によって困難な子供たちに対する支援で、高校の無償化というのは、すべての生徒たちに行われるものですので、そこで格差が広がっていってしまうことが非常に心配だなというふうに思っています。簡単に授業料が要らなくなったから、その分は削ってもいいよというふうなことをお考えじゃないというのは今、御説明でわかりましたけれども、今後、なくしていくような方向に進まないことを私としては思っております。以上です。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

○桑原委員

同じく2ページの学校教育課のところなんですが、一番下の特別支援教育充実事業のところ、ちょっと御説明で減額の理由が支援員を2人減らす、研修を減らすとお話あったと思うので、どういった理由で人を減らすことができたり、研修を減らしたのかというのをちょっと伺えればと思います。

○奥村学校教育課長

学習支援員につきましては、本市で実施をさせていただいております就学支援委員会の中で、学習支援員をつけることが適当であるというようなアドバイスをちょうだいして、それで学習支援員をつけているというのが実態でございます。来年度新入生等研究所の教育相談の中で、必要であろうと思われる児童・生徒につきまして、新就学児と卒業生を相殺したときに、先ほどお話ありましたような学習支援員数となりました。それから、逗子の支援教育についての研修ということをして2年間ずっと行ってまいりましたけれども、来年度につきまし

ては3年目ということで、研修よりも、実際に動き始めるということで、それに対するスーパーバイズをお願いすることが中心になるだろうということで研修費が減ったということです。

○村松委員長

よろしゅうございますか。その他、何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

○山西委員

3ページの社会教育課の予算関係なんですが、今までこの定例会でもそうですし、教育委員会の私たち教育委員の勉強会の中でも、社会教育の議論についてはかなりやってくる中で、市民協働のほうで、市民による学習というものをどう支援体制をつくるかという一つの柱と、もう一つは、やはり社会教育課、特に公的な社会教育が逗子の中でどういったテーマ性をより明確にしながら、今後どんな事業をつくり出していくかというのは非常に大きな課題だろうという話はずっとしてきて、今、各種講座事業と家庭教育推進事業というのが恐らくその柱になるんだろうと思うんですが、一つは事業概要の中にそれに該当する文言が、従来の文言とそのままであって、これからどういうテーマで、どういうふうに社会教育を、公的な社会教育を進めていくというメッセージが、正直言うとこの事業概要からは読み取れないという印象が1つと、それに対して、予算の枠は当然ありますが、要望として、ここに力点を置くから、こういう形でプラスで要望するという、数的にもメッセージが欲しいというのが正直な印象なんです。それが従来の金額とほとんどない。特に上のほうは減額で要望していますから、それはなぜなんだろうというのが正直な印象です。

○杉山教育部次長

ただいま御指摘ありましたが、事業概要からこれからの方向性が読み取れないという指摘をいただきました。社会教育課といたしましては、現代的なテーマをこれから取り上げていきたいと考えております。これからの予定になりますけれども、例えば国際支援教育ですとか、あるいは市内のいろいろ御活躍いただいているボランティアの方を育成、支援をしていくといったような講座を考えております。各種講座事業が減額になっているという御指摘なんですけれども、これはパソコン教育などで初年度学校の教室を使うということで、事前の準備ですとか、あるいは若干初期投資が必要だったということがありましたが、それが来年度以降は要らないということでの減額になっております。教育費の全体の枠配分という中で、社会教育課だけなかなか大きな増額要求というのは難しいところなんですけれども、ただ、委員から御指摘がありましたように、姿勢としては前向きに、限られた予算ではありますけ

れども、内容の充実をぜひ工夫していきたいと考えております。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。そのほか何かありますでしょうか。

よろしゅうございますか。はい、ありがとうございます。それでは、その他、何か議事ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○宮崎スポーツ課長

スポーツ課から平成22年度第58回逗子市内一周駅伝競争大会について御案内させていただきます。

本大会の主催は、逗子市教育委員会とし、財団法人逗子市体育協会、逗子市陸上競技協会が主管します。また、朝日新聞社、横浜銀行逗子支店、日刊スポーツ新聞社及びASA逗子・東逗子の後援をいただいております。実施は平成23年1月9日（日曜日）、当日は第一運動公園テニスコート側駐車場前をスタートし、市内6区間、27.8キロメートルで実施いたします。開会式は逗子アリーナにおいて午前8時20分から行い、閉会式を午前11時30分と予定しておりますが、到着チームの状況で若干の時間の変動が出てきます。

大会役員として、会長には村松委員長、副会長には青池教育長をお願いをいたします。教育委員の皆様におかれましては、当日の出欠について、スポーツ課まで御一報いただければと思います。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

○村松委員長

はい、ありがとうございました。市内一周駅伝競争と、第58回ですが、何かこれにつきまして御質疑、御意見ございますでしょうか。はい、どうぞ。

○桑原委員

今年になりますか、今年の1月ですが、エントリーのチーム数が過去にないぐらい増えたという御報告を受けて、そのことは、うれしい反面、安全性の問題とか、課題が持たれているということでしたので、来年になりますか、今度の駅伝に対してどんなような対応を考えているかということ、ちょっと

○宮崎スポーツ課長

選手及び応援者の安全性の確保ですけれども、警察からの交差点場所への署員の配置の増員と、あと、競技役員の増員と安全性の確保に協力していただいております。あとですね、昨年まではなかったんですが、最後尾の後ろに警察のミニパトを配置していただいて、抜

かせないように配慮していただきます。

○村松委員長

今年は何チームぐらい参加予定でしたか。

○宮崎スポーツ課長

第1次エントリーが12月12日に終わりました、地域対抗で18チーム、昨年が14チームでした。それで団体対抗が33チーム、今年が28チームでした。

○村松委員長

増える傾向に。はい、どうぞ。

○竹村委員

去年見た感想なんですけれども、エントリーしているチームの中で、幼稚園関係のチームが増えてきていることに伴って、応援をしている人たちの年齢とといいますか、子供が応援している人がすごく多くなっていると思うんですね。道路を横断するのに結構無理やり渡ったりとかするシーンを何回か見かけましたので、警察の方はその辺はよくわかっていらっしゃると思いますけれども、交通安全のお手伝いをしてくださるさまざまな役員さんの中にも、そういったことについて一言つけ加えていただければ。昔とは今は少し事情が違っているんじゃないかということもつけ加えていただければなと思います。以上です。

○村松委員長

はい、どうぞ。

○宮崎スポーツ課長

1月7日に役員会議がありますので、再確認させていただきます。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。その他、何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

○桑原委員

来年チーム数が合計で5～6チーム増えた、もうちょっと増えましたね。9チーム増えたということで、大変喜ばしいことだと思うんですが、やはり危険の問題ですとか、あとは交通規制の問題で、なかなか競技時間が延ばせないということだったんですけれども、恐らくかなり力量の違いが出てきているというところでは、たしか前回もお話したかと思うんですけれども、この大会の趣旨と現実とがかなり乖離してきている可能性もあるのかなというところでは、今後生涯スポーツという、スポーツ振興の計画もあると思うんですが、観点からは一つの工夫をする時期にきているのかなというような感想を持っていますので、善処し

ていただければと思います。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。去年たしか繰り上げスタートというのかな、途中で。かなりのチームありましたよね。

○宮崎スポーツ課長

そうですね。ただ、新規チームには、結構レベルの差は無いと思っています。といいますのは、競技者の走力として5kmを23分以内ということに加え、新規になる場合には、海岸を走る会、あるいは市民の陸上競技大会に2回以上参加しないと出れませんという縛りがありますので、それほど素人のレベルではないと思うんですけれども、トップチームが速過ぎるということもありますが。

○桑原委員

そのコンセプト、趣旨としてお話ししたのは、本当に市民団体として、健康のためにランニングをして、一つの目標で駅伝という方をどうするかというところでは、今後スポーツ人口やランニング人口が増えていったときに、この駅伝とはちょっと違った趣旨のものを考える可能性であるとか、この駅伝を変えていくという可能性も出てきたのかなと。そういった意味では生涯スポーツの振興としてはいいことだと思うんですけれども、この駅伝のあり方といいますか、そういったところが、せっかく人口が増えてきたのに速い人しか出れない駅伝でいいのだろうかというのは、別の視点で検討していただく必要があるかなというふうにとらえていただければと思います。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。その他、何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

○竹村委員

学校の忙しさみたいなものがいろいろなところで問題になっていて、私も数回そのことについていろいろな角度で触れたいなと思っているんですけれども、そのことが子供たちの学びや生活に悪い影響がなければいいんですけれども、例えば教員間、先生方のコミュニケーションみたいなものについていろいろと問題があるのではないかなというふうなことを前に記事で読んだことがあって、そのことについてお伺いしたいと思います。

1つには、先生方の世代間の問題、年齢的な差の問題があると思います。若い先生方の中には、個人主義の方もいらっしゃるって、これは学校に限らず企業なんかでも一つ問題になっていますけれども、そういったこと。2つ目としては、行事が昔に比べると少なくなってい

るんじゃないのかなと思ひまして、行事を行うに当たって、先生同士が協力してコミュニケーションをとっていくということの機会が減っているんじゃないかなという心配があります。もう一つは、残業というんですか、働く時間がとても多くなっていて、人間同士のつき合いを深める機会が減っているんじゃないかと。例えば、終わったら飲みに行こうぜみたいな、そういったことですね。とりわけ管理職、校長先生、教頭先生と若手の先生のコミュニケーションがうまくとれているんだらうか。一丸となって子供たちの教育に当たっていただきたいというふうに願っていますけれども、そういったことが本市において問題になっていないか。問題になってなければもちろんいいんですけれども、そういったことについても考えていく必要があるのではないかなというふうに個人的に思っています。これは昔風の考え方かなというふうに思うんですけれども、意外にこんなことが重要だったりするので、もしお考えがあればお願いしたいなと思ひます。

○奥村学校教育課長

本市につきまして、教職員間のコミュニケーションという部分は、以前にも教育委員会の中で議論がございました。教員間のコミュニケーション機会の減少の可能性は、本市にもある。その解消ということで、職員会議やその他会議の効率化ですとか、それから研修の見直しということで、これまで対応してきたところです。学校行事につきましては、本市の場合は2学期制という形でやっておりますけれども、授業時数の確保というところで、日数の精選というようなことはやっておりますけれども、大きな行事そのものはつぶしておりませんので、その部分で一緒にこういった行事をつくっていくというところは今でも行われているというふうに思ひます。

それから、車通勤の方が増えているというところもあって、先ほどありましたいわゆるコミュニケーションという部分については確かに減っているというところはあるかと思ひます。ただ、各学校とも、若手の人材育成については、教育委員会としてもお願いをしてくているところでして、学校によっては例えばメンターというような形で総括教諭の先生方ですとか、いわゆる先輩、ベテランの先生が若手の先生方の授業ですとか、あるいは生活も含めてカバーをしていただいているというような取り組みもございます。また委員会のほうでも、いわゆる指導教員の配置ということで、退職をされた校長先生あるいはベテランの教員の先生方が、若手の先生方への指導を行っているというところでございます。

○村松委員長

はい、ありがとうございます。いずれにしても、やっぱり各企業もですね、この間、

新聞にも出ていましたけれど、最近はコミュニケーションを図るために運動会を復活したりですね、家族旅行、家族の懇親会の催事を復活したり、あるいは社員旅行を復活したりと。今の状況ですと、なかなかコミュニケーションが図れない。特に携帯がこれだけ普及して、それから個々の電話が社内電話というのがあまりなくなっているわけですから、そういうようなことが、先ほど竹村委員言ったように、昔のやり方をもう一遍見直そうというようなところでコミュニケーションを図っていくということが増えてきていることは事実です。だから、やはり先生方もどうやって世代間が違っている中でコミュニケーションを図っていくかということは、改めて考えていったほうが、何かの手段を使いながらですね、より交流できる場をどう提供していくのかということは考えたほうがいいんじゃないかという気はしなくてもありませんから、その辺はよろしく願いいたします。

その他、何かございますでしょうか。よろしゅうございますか。その他の議題ありますか。よろしいですか。

それではないようですので、以上でその他について終わりいたします。

次回の定例会についてですが、来年1月17日、午前10時からを予定しております。決定について改めて委員に御通知いたします。

以上で本日の日程はすべて終了しました。これをもちまして教育委員会12月定例会を終了いたします。この1年間、本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。